

静岡県清水町の子育てまちづくり

～静岡県清水町～

龍ヶ崎市都市環境部都市計画課 課長補佐 湯原 秀一

平成27年10月15日、16日の2日間、茨城県都市計画協会主催の先進地視察に参加し、静岡県及び埼玉県の先進地2自治体のまちづくりを学ぶことができました。

ここでは1日目に視察した静岡県清水町の都市再生整備計画事業についてご紹介します。

■清水町の概要

清水町は、伊豆半島の付け根である静岡県東部地域に位置する面積8.81km²、人口約3万3千人の町です。国道1号が町北部を東西に横断しており、静岡県東部地域の中心都市である沼津市と三島市との間にあります。これら人口密集地への交通の便が良いこともあって、沿道利用を中心とした商業が発展する一方、近隣都市と生活圏を一体とした住宅地としても発展しています。

また、町は急峻な山々に抱かれた平野部により成り立っており、平野部には田畑が広がり稲作が盛んで、また山々では林業も行われているなど豊かな自然に恵まれた街でもあります。



■清水町のまちづくり

清水町ではこのような地理的特性やすばらしい自然環境を生かし、「笑顔があふれ、こちよく、住み続けたいまち・清水町」というキャッチフレーズを掲げ、魅力を感じる町を目指しています。

■まちづくりの課題

どこの自治体が抱える問題でもありますが、清水町でも多くの公共施設が、建築から20年、30年を迎え、老朽化が著しく耐震性が劣るものとなってきました。また、柿田川を身近に感じることができる柿田川公園の充実が必要でありました。

南部地区については、人口が増加していることから、若い子育て世代が安心して子どもを産み育てることができず、子育て支援態勢が必要でありました。

■都市再生整備計画の整備方針・目標

これらのことから、町では「時代を担うひとづくりの実践による活力あるまちづくりと安全で快適な生活を実感できるまちづくりの実現」を目標に掲げ、新しい施設への建て替え、又は既存建物の耐震補強による施設の安全性の確保はもとより、個々の施設の特性を生かした整備を進めるとともに、施設の相乗効果により活力のあるまちづくりを目指しました。

整備方針の3つの柱

「生涯学習、地域交流の推進」

- ・多くの町民が集い、交流する地域交流センターの整備
- ・地域交流センターと連携した自然の教育の場や、多くの町民、観光客の集まる柿田川公園の整備
- ・子どもからお年寄りまでが安心して利用し、地域の交流を促進する地区児童遊園地の整備

「子育て環境の充実」

- ・若い子育て世代の支援を図るため、地域子育て世代活動支援センター及び保育所の整備

「安全で快適な生活の実現」

- ・交通弱者への対応や地域資源をネットワーク化し、まちの賑わいを創出するとともに、歩いて暮らせるまちづくりを進めるため、主要町道の歩道整備及び公共施設のバリアフリー化を推進

| 指 標 | 整備前 | 目 標 | 整備後 |
|------------------------|---------|---------|---------|
| 地域交流センター利用者数 (人/年) | 49,405 | 60,000 | 71,698 |
| 子育て支援センター利用者数 (人/年) | 223 | 600 | 2,898 |
| 公共施設のバリアフリー化率 (%) | 20 | 45 | 45 |
| 柿田川公園来場者数 (人/年) | 401,000 | 408,000 | 424,550 |

■清水町地域交流センター

多目的ホールをはじめ、研修室、調理実習室、工芸室、展示ホールなど、学習活動や交流活動などに利用されています。

だれでも利用しやすい施設を目指して、各階にオストメイト対応多目的トイレ、ストレッチャー機能付エレベーターや多目的ホールには親子室を2部屋設置するなど、ユニバーサルデザインを導入しています。

また、太陽光発電を導入し、地球環境にも優しい施設となっています。屋根に設置した太陽光パネルは230枚で、最大出力毎時28kwを発電し、センター電力量の約9%を賄っているそうです。

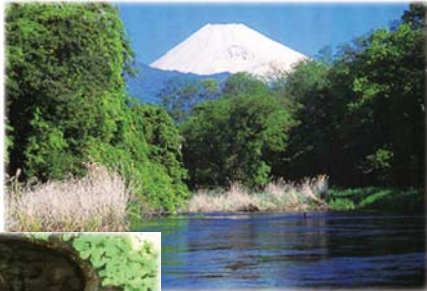


地域交流センター

敷地 5,297,42㎡
 建築 1,976,59㎡
 延床 2,854,87㎡
 鉄骨造2階建

■清水町柿田川公園

名水百選にも
 選ばれ、
 東洋一の湧水量
 を誇る柿田川



展望台からは、
 年中変わることなく
 水が湧き出る
 「わき間」を見れる

昭和61年4月、「自然の保護・保全」「コミュニティー広場の確保」を目的に町民の憩いの場として柿田川の上流部に開園しました。

また、国指定天然記念物の柿田川を眺めながら散策できる遊歩道が整備されています。

■サントムーン柿田川 子育て総合支援センター

清水町子育て総合支援センター“ひまわり”（サントムーン柿田川2階）は、平成19年11月1日に開所しました。交流ひろば・一時保育・育児相談・子育て講座・ファミリーサポートセンターを中心とした多様な子育て

事業を推進することにより、安心して子どもを産み育てることができるように設置したものです。

国道1号線からすぐのショッピングセンターの中という便利でオープンな立地に、行政による子育て支援センターがあると、行きやすく、利用しやすいそうです。

専門店街、ホームセンター、家電量販店など130店舗以上、駐車場3,000台以上の規模を誇る大規模ショッピングセンター



ショッピングセンター内の子育て支援センター

利用時間

10:00～12:00,
 13:00～18:00

休所日

水曜日
 年末年始

■おわりに

清水町は、JRの東海道本線が北部をわずかにかすめるのみで、町内に駅はない。しかし主要幹線道路へのアクセスの便が良いことから、運輸会社の営業所が多く、町内を走る国道1号線沿い（特に柿田川周辺）には、レストランやショッピングセンターがあり、多くの人々で賑わっている。現地視察を行った「地域交流センター」は、当日も多くの方が集まり活動を行っており、目標の利用者数を大きく上回っている。「柿田川公園」については、遊歩道から中流の優雅な流れやわき間を見ることができ、豊富な湧水を感じられ素晴らしい景観であり、観光客も多く訪れていた。最後に、「子育て支援センター」は、施設面積26,400㎡の複合型ショッピングセンター内に整備したことで、利用者数が約10倍になり、利用者ニーズのマッチングが素晴らしいと思えた。なお、担当の方に施設の賃貸料について確認したところ、「光熱水費のみで、地代等の支払はしていません。相乗効果で利用客、利用者が多くなるのでお互いメリットがありますので。」と話してくれました。

清水町は、人口約3万3千人とそれほど大きな町ではないが、豊かな自然に恵まれた一方で、近隣都市との地理的特性を生かし沿道商業と住宅地が発展しており、このような環境を利点とした魅力的で活気のある町となっており、今後のまちづくりの参考としたい。

